

「市民満足度調査」の実施について

1 調査目的

- 市が取り組む施策に対して、市民が現在どの程度満足と感じているか、そして今後どれくらい重要と感じているかを統計的に整理するとともに、施策に関連する市民の生活実感・行動実態・認知度等を把握することにより、「清須市第2次総合計画」の進捗を適切に管理し、今後の清須市のまちづくりに反映することを目的とする。
- なお、2018年度（平成30年度）調査は、2020年度（平成32年度）から始まる「清須市第2次総合計画 後期基本計画」の策定作業の一環として実施し、施策に関連する市民意向を踏まえて、後期基本計画の策定を進める。

2 調査方法

- 調査地域：清須市全域
- 調査対象：市内に居住する満20歳以上の個人（平成31年2月1日現在）
- 発送数：3,000人
- 抽出方法：住民基本台帳による単純無作為抽出法
- 調査方法：郵送調査法（郵送配布・郵送回収）
- 調査期間：平成31年2月中旬から3月中旬

3 調査項目

- 回答者の属性
性別、年齢、居住地域、職業、家族構成、居住年数
- 市の施策に関する満足度・重要度
「清須市第2次総合計画（基本計画）」に位置付けている施策（37項目）に関する「現状の満足度」と「今後の重要度」
- 市の施策に関連する市民の生活実感・行動実態・認知度等
「清須市第2次総合計画（基本計画）」において、施策の達成度指標として設定（後期基本計画で新たに設定予定のものを含む。）している「市民の生活実感・行動実態・認知度等」

4 調査スケジュール

時期	工程
1月～2月上旬	調査票・参考資料等の作成、対象者の抽出、発送準備
2月中旬～3月中旬	調査の実施
3月中旬～4月	調査結果の単純集計（市の施策に関する満足度・重要度、市の施策に関連する市民の生活実感・行動実態・認知度等）
6月	第3回 総合計画審議会（単純集計結果の報告）
9月	調査報告書の完成・公表

5 調査票のイメージ

市の施策に関する満足度・重要度
<p>《問》 あなたの市の施策に対する満足度・重要度についてお尋ねします。</p> <p>以下の37の施策の「目指す姿」と「具体的な取組」をお読みいただき、各施策の「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。</p>
<p>（例）施策101 治水対策の推進</p> <p>【目指す姿（目的）】 ←基本計画の「目指す姿」 総合的な治水対策が着実に進展し、浸水被害の軽減が図られています。</p> <p>【具体的な取組み（手段）】 ←基本計画の「施策の展開」 雨水貯留施設の整備・管理、排水ポンプ場・雨水幹線等の整備・管理、水害に強い安全な河川づくり、市民に分かりやすい水害対応情報の発信 など</p>
<p>《答》</p> <p>[現状の満足度] 満足／やや満足／どちらとも言えない／やや不満／不満</p> <p>[今後の重要度] 重要／やや重要／どちらとも言えない／あまり重要ではない／重要ではない</p>

市の施策に関連する市民の生活実感・行動実態・認知度等
<p>【例1：生活実感】 『市内の道路網が充実していると思う市民の割合』（「施策402 道路・橋梁の整備・適正管理の推進」の達成度指標）</p> <p>《問》 あなたは、市内の道路網が充実していると思いますか。</p> <p>《答》 思う／どちらかと思う／どちらともいえない／どちらかと思うとしない／思わない</p>
<p>【例2：行動実態】 『健康的な生活習慣を心がけている市民の割合』（「施策301 健康づくりの推進」の達成度指標）</p> <p>《問》 あなたは、ふだんから健康的な生活習慣を心がけていますか。</p> <p>《答》 心がけている／どちらかという心がけている／どちらともいえない／どちらかという心がけていない／心がけていない</p>
<p>【例3：認知度】 『民生委員・児童委員の地域での活動を知っている市民の割合』（「施策302 地域福祉の充実」の達成度指標）</p> <p>《問》 あなたは、お住まいの地域での民生委員・児童委員の活動をご存じですか。</p> <p>《答》 知っている／知らない</p>

6 第2次総合計画期間中の市民満足度調査のサイクル

- 今後も計画の検証・見直し等の時期にあわせて、次のとおり市民満足度調査を実施予定。

